

(古尾谷知浩)

木簡学会役員（一九九九・二〇〇〇年度）

會長	佐藤 宗諄	田辺 征夫	榎木 謙周
副會長	鎌田 元一	岩本 正二	清水 みき
委員	今泉 隆雄	佐藤 信	東野 治之
	栄原永遠男	寺崎 保広	本郷 真紹
	館野 和己	平川 南	和田 萃
	西山 良平	山中 敏史	
	粳山 明		
	渡辺 晃宏		
監事	石上 英一	岩本 次郎	鈴木 景二
幹事	岩宮 隆司	鷺森 浩幸	西村さとみ
	鶴見 泰寿	土橋 誠	増渕 徹
	馬場 基	古尾谷知浩	横内 裕人
	山下信一郎	山本 崇	
	吉川 聡	吉川 真司	

編集後記

今年もあと僅かとなり、『木簡研究』の編集後記を書く季節になった。今号は各地の報告がついに一〇二件となり、昨年の記録をまたも更新した。これに論文・書評を加えると、優に三〇〇頁を超えている。ご味読・ご検討をお願いする次第である。

さて、『木簡研究』は実に多くの人々に支えられている。お忙し
いなか、各地の情報をご執筆いただいた調査担当者の方々、論文・
書評をお寄せいただいた山口さん・杉本さん・北村さん・平石さん
に、心からお礼申し上げます。委員や若手の幹事の皆さんにも、た
いへんお世話になった。また、事務局で編集を担当されたのは、新
進の吉川聡さんである。聡さんが、遅くまで机に向かっている姿が
目に浮かぶ。

顧みれば、昔の『木簡研究』に比べ、昨今は二倍の分量がある。これだけの厚さを、この精度・内容で出し続けるのは、なかなかの作業である。編集上の工夫が、何かな必要な段階に達しているかと思われる。

この編集後記は、一月の初めに書いている。正直なところ、この後記が大会の当日に、会員の皆さんの目にふれていることを切に望んでいる。

（西山良平）